

国際交流サロン

3月は「チューインガムの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	チューインガム
発祥地	メキシコ南部からグアテマラ
いつごろ	西暦300年ごろ
誰がはじめたか	中央アメリカに栄えたアステカ文明と、マヤ文明のアステカ族とマヤ族は、サポディラやエソマツという高さが20メートル以上になる樹木のチクルという樹液のかたまりを噛む習慣がありました。両文明の先住民は、のどの渇きや空腹を和らげるためにチクルを噛みました。また、噛み続けると顎の発達 ^{しこうりん} が期待されるとして、男らしい風貌になりたいとの美意識を持って噛んでいたそうです。16世紀にマヤ文明がスペインに征服された後も、チクルを噛む習慣はメキシコインディオやスペイン系移民に受け継がれました。現代の甘味料が入った甘いガムは、19世紀半ばにアメリカで製造され、嗜好品として世界中に普及していきました。



牛の人工授精を指導する
東大岩間牧場チーム(タイ東北部)

4月の国際交流情報

ホームタウン・ガイド研修会

日時: 4月19日(土)

午後1時~3時30分

会場: 笠間稻荷神社 小会議室

課題: 芸術の森公園から笠間稻荷神社までのガイドコースを作る

☆4月の日本語教室の開講日

4月5日(土)・12日(土)・19日(土)

(友部公民館 午前10時~)

ホームタウン・ガイド研修会

笠間市国際交流協会では、芸術の森公園から笠間稻荷神社までのガイドコースを作り、コース上にある観光スポットを英語で案内する研修会を開催します。屋内研修後、コースを歩きガイドマップ作成のための研修をします。国際交流協会に入会してホームタウン・ガイドに新規登録したい方を中心に、これまで活躍してきたホームタウン・ガイドの経験者も参加します。参加希望者は4月11日(金)までに協会まで、電話でお申し込みください。

問合せ: 一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

予算編成

市の予算編成は前年の10月からはじまります。まず、その年の新年度の事業計画に基づき、各課が積み上げて作成した予算要求を財政部に提出します。各課は、財政部局とのヒアリング等を経て、市長査定↓復活要求と査定、そして予算の最終原案が決定します。その後、議会へ予算の内示をして、定例議会へ諮り、議決という流れで予算が成立し、新年度の4月から各課で執行していきます。

各課では、新しい事業も含め、さまざまな施策を考案し、それに対する経費を計上してきますが、限りある財源の中では、す

べてを認めることはできません。市長査定では、担当課と激しく議論しながら苦渋の決断をすることがしばしばあります。

すべての部署と一通り議論し、まず暫定的な予算を出します。そこで削減された経費を担当部局がどうしても必要な経費であるときは、復活要求をして、再度、議論を重ねます。この市長査定、復活要求は、補助金、負担金、費用負担をはじめ、継続事業、新規事業すべての査定が行われ、最終額が決定されます。

この時期はすべての部署の職員と議論し、市民の皆さんの要望や、市が現在行っている事業の成果などを聞き取るようにしています。私にとっても、1年間の政策を実施するための基となる予算でありますから、財政部局や各課と議論のうえ厳しく査定をしています。

千円単位から何千万、何億の単位にまで高額になる予算は、皆様からの大切な税金であるとの感覚を失わないように意識しています。

笠間市長

山口伸樹



▲ 予算について議論をかわす
市長と各部局長